

佐藤 恒平 さとう こうへい

活動地域：山形県朝日町 支援可能な地域：全国どこでも可能

現在 地域振研究者

朝日町役場情報交流アドバイザー／朝日町観光協会理事

アドバイザー可能な分野

- ・その他 SNS や各種メディアを使った情報発信
- ・その他 印刷物デザイン、映像制作のサポート
- ・観光振興・交流事業（産学連携プロジェクトなど）
- ・エリアブランディング

地域での活動

町民、町外のお客様それぞれに対して地域の情報に興味を持ってもらうことを目的に設置された特別職「朝日町情報交流アドバイザー」として活動中。学生時代に行っていた地域振興手法研究のひとつである「着ぐるみを使った、地域おこしがしやすい地域づくりの研究」の実践運用を、朝日町役場から依頼され、2010年10月より地域おこし協力隊として着任、2年半の活動を経て現職に移行となった。

主な活動は、自身でデザインしたウサギの着ぐるみ「桃色ウサヒ」を身にまとって、地域住民と交流、その模様を役場HPのコンテンツとして発信している。交流の中で住民から寄せられる様々なアイデアを、着ぐるみの運営に取り入れていくことで、住民参加型の情報発信を実現している。

大がかりな組織の新設や、多人数の外部人材の導入に頼らず、着ぐるみ1体で、地域おこしに町民が参加しやすい環境を生み出す、「予算と労力の手軽さ」が取り組み最大のメリットとなっている。

この活動では情報発信を介して、住民アイデアを実現し、地域の自信や誇りを醸成していくことが目的となっている。したがって、着ぐるみによる情報の発信そのものは、あくまでも地域住民との交流の手段と位置づけられている。しかし、活動の注目度が高まるのに応じて、役場HPの月間アクセスは着任時より2.2倍（約2200ビュー）に伸びた。

地域での活動がスムーズに進む背景として、美術学校卒業のキャリアを生かして、グラフィック、映像、プロダクト各種デザインの請負を自身で行っている点が挙げられる。地域PR用の動画、パンフレットや町の総合案内ポスター、町内の神社のお土産などを作成している。会議での結果がいち早くカタチとして生み出されることが、住民との協同事業での潤滑剤となっている。

また、研究者としての活動を通じて県外の大学の視察研修やインターンシップを誘致、共同研究などへ発展させることで地域と大学との連携を生み出している。2012年からは朝日町観光協会の理事に就任。山形県知事表彰、地域仕事づくり大賞 2012 総合グランプリなどを受賞。メディアではNHK 全国放送をへて、ドイツ国営放送からも紹介されている。

自己 PR 得意分野やアドバイザーの抱負

はじめまして、佐藤恒平と申します。現在、自身が研究してきた地域振興の手法と、デザインの技能を活かして、朝日町をはじめ周辺市町村の地域活動のサポートをしております。

得意分野は SNS（ツイッター・フェイスブックなど）・各種メディアと連携しての情報発信、およびデザインによるサポートです。地域振興の事例研究をもとに企画のマネジメント、その運営に伴う情報発信の戦略、デザイン分野のサポートと、必要に応じた分野で協力隊と受け入れ団体の企画運営をお手伝いいたします。

企画会議やワークショップで良いアイデアは生まれるのだけど、なかなか形にならない。プロジェクトは運営できているのだけど情報発信がどうしても苦手といった問題解決のお役に立てると思います。

とくに、地域振興活動は「見せ方」が重要になってくる場面が多々あります。より多くの人に知ってもらい参加してもらえる企画のマネジメント。そして、それを形にしておくために最適なデザインをサポートします。

リクエストに応じたデザイン作成はもちろんですが、現地の隊員たち向けにデザインソフトの使い方をレクチャーすることも可能です(現在、朝日町の協力隊員の指導を行っています)。隊員のスキルアップに生かしていただければ幸いです。